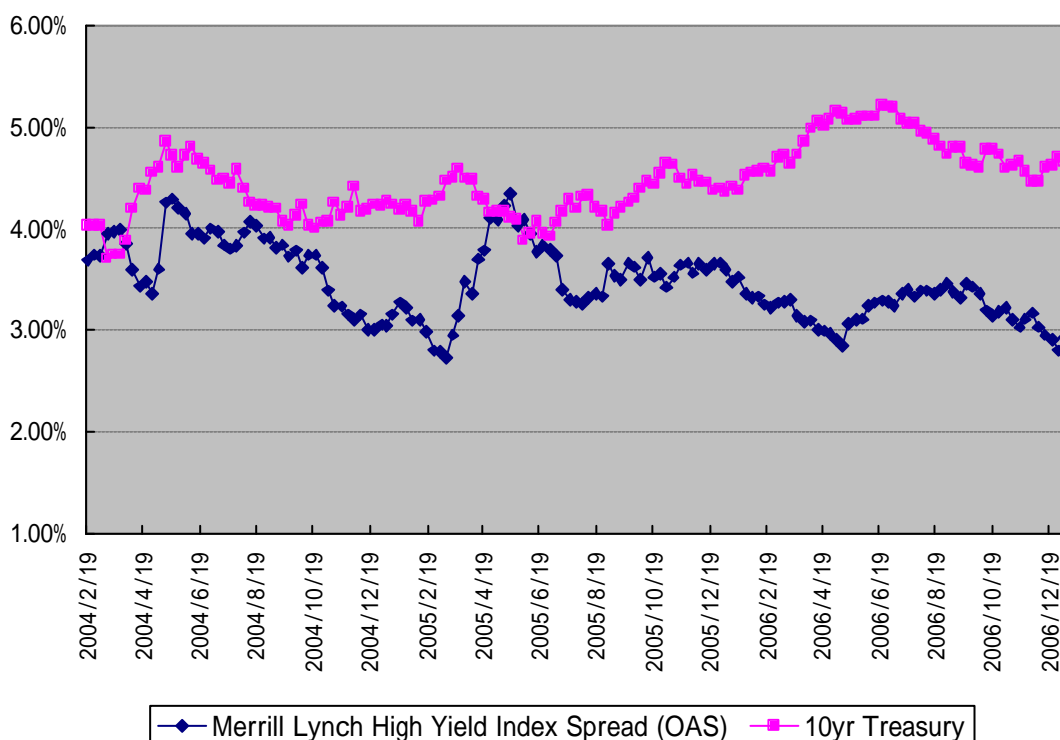


米国社債市場

市場コメント(1月20日～1月26日の週)

先週はエドワード・アルトマン教授が講演会にて現在のクレジットマーケットは明らかに行き過ぎ、と発言(2006年のデフォルト率は0.76%)。マーケットに直接影響はなかったものの、現在のデフォルト率を「通常」と考えるのは間違っているとの指摘は大いに考えさせられるものであろう。昨年アルトマン教授はデフォルト率を4%強と予測、結果的に大はずれとなったが、今年も2%に上昇すると予測しており、仮に2%を超えれば、CCC格を中心にして現在のハイ・イールドファンドは手ひどい損失を被るといふ。その主張には反論はできないだろう。日本の銀行がしこたま投資しているCLOのエクイティーについても警笛を鳴らしており、ローンなら安全だろうとする考え方が問われる局面があるかもしれない。

ハイ・イールド債券スプレッドと米国10年債利回り



本資料は、証券投資の参考となる情報の提供を目的としており、証券の売買勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。